

【児童の実態】

- ・素直で子どもらしく、学年を超えて元気に遊ぶ。
- ・学年が上がるにつれて、落ち着いて学習に取り組めるようになる。
- ・学ぶことに対して受け身で、難しいと諦めてしまう子どもが増えてきた。
- ・気持ちや考えを言葉で伝えることが苦手な子どもが多い。感情的にぶつかり合い大きなトラブルになる。
- ・言葉遣いが荒い子どもや、挨拶ができない子どもがいる。

【社会の要請等】

- ・予測困難な未来の到来
- ・高度情報化、AIとの共存
- ・人口減少、少子高齢化
- ・不登校、自殺の増加
- ・主体的・対話的で深い学びの実装
- ・多様性の包摂

学校教育目標

確かな学びと関わりを通して  
自分も相手も大切にし  
自ら伸びようとする児童の育成

育みたい力と心

諦めない心・自己肯定感

人間関係形成力

自他の尊重、協働する力

令和8年度の重点的な取組

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「できた」「わかった」の実感が持てる授業づくり</li> <li>・学びに向かう力を引き出す楽しい授業の創造</li> <li>・難易度と手立ての吟味</li> <li>・学びの意義と自己の成長に気づく「振り返り」の時間の確保</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学びを諦めさせない工夫と手立て</li> <li>・授業のユニバーサルデザイン化（見通し、ゴールの設定、楽しい活動）</li> <li>・学び方や難易度、問題数を選べる場面の設定（コース別、タブレット活用）</li> <li>・諦めさせないための個別指導（個別の宿題、サポートルーム活用）</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治の力を育む特別活動</li> <li>・トラブルをみんなで解決する学級会、朝の会、帰りの会</li> <li>・自分の考えと相手の考えの折り合いのつけ方を学ぶ話し合い活動</li> <li>・子どもの「声」を学校づくりに生かす議題箱等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○人との関わり方やコミュニケーション能力の育成</li> <li>・構成的グループエンカウンターの間を創設</li> <li>・縦割り活動（遊び、掃除）</li> <li>・道徳や人権教育で、重点的に、自他の尊重や多様性について学ぶ</li> </ul>                              |

子どもたちを幸せにする学校

安心感の土台づくり

- 「スマイルサポートルーム」の設置  
学校の中にすべての子どもの居場所をつくる。諦めさせない学習支援
- 地域と保護者による「スクールサポートボランティア」の立ち上げ  
学習活動支援（安全見守り、家庭科、丸付け）ベルマーク仕分け
- SCやSSWをはじめ、関係機関との組織的な連携

学校

家庭

地域

人間関係・学び・体験活動・愛情・生活習慣・居場所・安心感・文化・伝統・愛着・安全見守り